

## 浜島繁隆『水草の世界 生態と東海地方の分布・変貌の記録』

(2013年3月, シンプルブックス, 151pp, 頒価2,000円)

1981年に「ため池の自然研究会」を創設、現在は顧問を務められている浜島氏による著書である。

浜島氏は、50年近くにわたり在野の研究者として水草を調査し続け、学会誌や研究会誌、同好会誌等にも多数の発表をされている。そのため、浜島氏の論文や報告を集めるのは容易ではないが、本書ではそれらの発表の裏付けとなる「野帳」のメモも含めて集録されており、浜島氏の歩みを記録するとともに、現在では想像もできないような豊かな水草の世界がどのように失われていったのか、今後の保全・再生を考える上で重要な資料となる1冊である。

第一章「水草の世界」では、新聞に掲載された記事を中心に水草の話題が紹介されている。第二章「水草の生態」では、水草の適応や繁殖様式など、浜島氏の観察によって明らかとなった多くの情報が盛り込まれている。第三章「東海地方のため池・農業用水路の水草分布と動態」および第四章「名古屋周辺の水草相の変貌」では、浜島氏のライフワークとも言える調査の成果が具体的な記録として残されている。第五章「変化する水草の記録」では、愛知県で絶滅した水草や絶滅が危惧されている水草など、浜島氏の調査に基づく記録が集約されている。また、第三章以降に収録されている水草の存否や植生図などの情報は、生育環境の変化を知る上での手掛かりとなる。

『水草の世界』に関心のある人、水辺環境を活動の場としている人には、ぜひ本書を手にとっていただきたい。なお、本書は自費出版であるため、入手方法等については出版社に問合せが必要である。

(なごや生物多様性センター 中村肇)

